

YEP! 元気アップ

第54号

那須教育事務所
ふれあい学習課

〒324-0056

栃木県大田原市中央1-9-9

Tel: 0287(23)2177 (代)

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ

今年も
熱盛!

平成30年度社会教育主事講習

なす高原自然の家
レポート編

例年になく猛暑日が続いたこの夏、宇都宮大学を会場に7月18日(水)～8月10日(金)の21日間、社会教育主事講習が行われました。今年には本地区から14名(県立学校・行政職員含む)の受講生が参加して、熱い(暑い?)夏を過ごしました。

ここでは、なす高原自然の家(7/26～28)で行われた社会教育演習の様子を紹介します。演習のテーマを「コミュニティ・スクール[※]の理解と運営」として、学校運営協議会が主催する事業の企画づくりを体験しました。学校運営協議会を単なる会議体としてのみ位置づけるのではなく、事業を行う主体として捉えることにより学校運営協議会が主体性を持つようになること、地域の教育力の担い手になることを想定し、各演習班でモデル校を決めて次のように演習を進めました。今後、「地域とともにある学校づくり」を推進していく上で、参考にいただければと思います。

※学校運営協議会制度を導入した学校。学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組み。

1. 答申・報告書を熟読する



まずは2つの答申・報告書を熟読し、コミュニティ・スクール(以下C.S)について理解するところから始まりました。

社会情勢の変化や教育改革の動向等を踏まえ、C.Sの必要性や学校と地域の目指すべき連携・協働の姿を半日かけて読み込みました。

【参考文献】「新しい時代の教育や地方創生の現実に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」(答申)(H27.12文科省) 「コミュニティ・スクールの推進等に関する調査研究協力者会議」報告書(H27.3文科省)

2. 学校運営協議会委員を選任する

最初にモデル校(実在校)を決めて、10名以内で校長を含めた学校運営協議会委員を選任します。必ず、地元・近隣の社会教育施設(公民館等)の関係者を含めます。



モデル校の実態に応じて委員を決めていくので、各班の特徴がよく見える場面でした。また、地域連携教員を委員に入れる班が多く、地域連携教員の役割を広く捉えていることが確認できました。

3. モデル校の事業を企画する

4回程度の連続講座を基本として、学習プログラムを作成します。

地元の公民館や運営協議会委員の所属団体との連携や協働を企画に盛り込みます。モデル校や地域の課題等を解決するため、様々なアイデアを出し合っていました。



面白いねえ。よし、これでいってみよう!
by 廣瀬先生

4. プログラムの旅から完成へ



完成した学習プログラムを他の班に回して、事業の目的や学習内容・方法等、全8項目についてチェックしてもらいました。

戻ってきた学習プログラムには、各班の意見等が書き込まれ、それらを基に再検討し完成となりました。

那須での演習は、各学校ですぐにでも実践できる内容でした。受講生も充実した3日間を過ごし、仲間と絆を深めました。

頑張っています! 社会教育主事

受講生のみなさん、大変お疲れ様でした!!



氏名: 今井 裕一
職名: 社会教育主事

勤務先: なす高原自然の家

今年度より赴任しました今井裕一です。8月11日(土)～12日(日)に主催事業「ふれあい登山教室①～親子でチャレンジ! 茶臼岳登山～」を担当しました。親子のふれあいや家族同士の交流を見ることができ、担当として嬉しい思いでした。今後も様々な行事を計画していますので、「ウィンディなす」をどうぞよろしくお願いいたします。